

失敗しない 産業用ロボット導入の心得

富士ロボット(株)

山下 夏樹*

*Natsuki Yamashita : 産業用ロボットコンサルタント 46歳
〒222-0026 横浜市港北区篠原町2557 TEL(045)517-7258

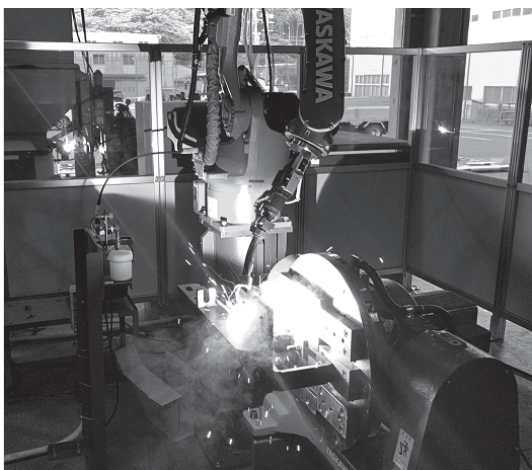
富士ロボット(株)代表取締役。同社が取り扱うソフトを用いて、さまざまな現場で産業用ロボットのティーチング工数を1/10にするなど、生産効率アップを実現してきた。サーボモータを使って1からロボットを作製した経歴をもつ。産業用ロボットの導入のプロ。ソフトを購入する顧客には無償でコンサルタントも行っている。ロボット初心者へのケアも好評。

第7回 ロボットの導入に成功した企業 ①(株)ドクター製作所 ベテランの溶接技術者から溶接ロボットに変更!

まったくの素人がロボット導入に成功

前回までの記事は、ロボットの導入に失敗しないための知識を記載してきたが、今回は実際にロボットの導入に成功した会社をインタビューした。これは、産業用ロボットだけでなく、ロボット全般がまったく初めての会社が成功したケースである。また、この業界では不可能と言われてきた一品一葉の製品を、ロボットで効率的に加工できたケースなので、良いお手本となるだろう。

さて、このドクター製作所は、製紙・製鉄機械になくてはならない「ドクターブレード」という、ロール表面の汚れや異物を取り除く装置を製作している会社である。この会社がなぜ産業用ロボットを導入したのか、そしてなぜ成功できたのか、それらを質問した。



一品一葉の製品をロボットで効率的に溶接

—ドクター製作所の優れている点は？

35年積み重ねたノウハウで、材質の選定から独自の設計・加工・組立てができるため、顧客のニーズに合わせて製作ができる。ドクターブレードにおいて、ここまで専門性のある会社はほかにない。出荷後のアフターフォローもていねいに行っているのも、顧客からとても定評があり、おかげさまでシェア日本一を継続している。

—産業用ロボット導入の契機は？

溶接作業者の高齢化である。実は、以前にも一度導入を検討していたが、新しいモノや作業に対する不安、「ロボットではベテラン技術者に劣るのではないか」という現場の声もあり、ロボット化に踏み切ることができなかった。そんなとき、ある鉄骨製造会社を訪問すると、ロボットが溶接をしていた。当社のベテラン社員たちも実際に目で見て驚嘆し、会社としてロボットの導入に舵を切ることができた。

—産業用ロボット導入に成功できた理由は？

ロボットメーカーやSI（システムインテグレータ）はハードしか提供してくれず、素人がどう使いこなすのかを指導してくれない。それに対し、富士ロボットは初心者向き・現場向きのティーチングソフト「RobotWorks」を提案・販売してくれただけでなく、多くの現場を見てきた経験を活かしたロボットのコンサルティングを無償でていねいにしてくれた。例えば、「何に気をつければよいか」、「どうすれば効率的に使いこなせるか」など。さらに、現場のロボットが稼働